2027年度　若築建設奨学生　募集案内

若築建設奨学金制度の設立趣旨

設立趣旨

わが国は、国土が狭隘で山地が多いという地形的な制約を克服し、沿岸域の多面的な利用を進めることで今日の豊かな社会を築いてきました。海岸延長32,000kmという長大な海岸線こそ、国土が狭く資源に乏しいわが国の繁栄を支えてきた貴重な資源です。この海岸線を利用して港をつくり、海運網を整備して、人や物の往来を増やすことで、わが国は発展してきました。

若築建設は1890（明治23）年、海上交通の要衝であった北九州の洞海湾や周辺の運河を改良して若松港を築港し、筑豊炭田の積出港として開発・運営するために設立されました。以来130年にわたり、海洋土木事業を主力とする建設会社（マリコン）として独自の技術力を発揮し、日本の発展に貢献してきました。現在、その力は海に留まらず総合建設会社（ゼネコン）として、国内外で数々のプロジェクトに参画しています。

しかしながら、少子高齢化の進展等から、海洋利用開発を担う人材の不足が懸念されています。このため、弊社と国立研究開発法人　海上・港湾・航空技術研究所　港湾空港技術研究所及び長岡技術科学大学は、連携して「海洋国の礎を築くための人材育成と研究開発計画」を推進することとしました。

本奨学金制度は、この計画に基づき、高等専門学校において土木工学、建築工学、機械工学、電気工学、制御工学等を専攻し、経済的理由により学業の継続・進学が困難である学生への奨学金給付を行い、若手技術者の育成に貢献することを目的としています。

ものづくりを通じて得られるやりがい、感動、達成感が満載の建設会社において活躍したいと考えている学生を応援します。

奨学金制度の概要

対象者

弊社が指定する高等専門学校の準学士課程4・5年生～専攻科課程1・2年生で、 特に土木工学、建築工学を専攻する学生を優先対象とし、併せて機械工学、電気工学、制御工学を専攻する学生も対象とします。また、奨学生が長岡技術科学大学などに編入した場合についても、奨学金の給付は継続します。なお、他団体の奨学金との併給は可能とします。

月額

準学士課程：20,000円　専攻科課程、大学編入生：30,000円
本奨学金について、返済の義務はありません。

給付期間

準学士課程4年～専攻科2年、および編入大学在学期間が対象です。

採用予定数

準学士課程4年進級予定者から各校1名　（全国で13名程度）

募集期間

2026年10月1日～2027年1月8日
学校推薦、面談等により 選考します。

年間予定

4月	奨学金給付	4～9月分を給付
夏季休暇中	インターンシップ実施 レポート作成	希望者のみ実施 全員作成
8、9月頃	奨学生懇談会	全員参加
10月	奨学金給付	10～3月分を給付

※奨学生懇談会は毎年場所を変えて開催し、様々なテーマの講演会の他、弊社社員、他校の高専生との交流会、また工事現場見学会等を実施します。

問い合せ先

〒153-0064東京都目黒区下目黒2-23-18
TEL03-3492-0271　FAX03-3490-1019
若築建設㈱　人事部　奨学金担当
scholarship@wakachiku.co.jp